

## 背景

- 厚生労働省より、2009年（2012年改訂）に「保育所における感染症対策ガイドライン」が発出され、保育所の感染症の予防とその対策については、これまでの知見や新たな情報の収集により適切に対応することを求めている。
- 乳幼児は、免疫が十分に発達していないため感染症を発症しやすい。
- とくに集団保育をしている保育所などは感染症の拡大（蔓延）が懸念されるため適切な感染予防対策を実施することが非常に重要である。

## 目的

保育所における感染症予防対策の現状と課題を明らかにすることを目的とした。

## 倫理的配慮

講演会の終了時に本研究の目的と方法について口頭で説明し、質問紙は無記名で回収箱への投函により同意が得られたものとした。

## 研究方法

2013年12月、名古屋市内の保育所従事者（保育士、看護師等）を対象に、感染予防の基本的な知識を提供する講演会を名古屋市立大学と名古屋市との共同開催で行った。受講者を対象に質問紙調査を実施し、乳幼児および職員のウイルス疾患の罹患歴、ワクチン接種歴に関する結果をもとに、感染予防対策の現状を明らかにして課題を考察した。

質問項目：  
属性、保育所での感染対策、標準予防策に関する知識や実施状況など合計29項目とした。

講義の内容：

内容	時間	担当講師
感染予防における病原体の基礎知識	25分	医師
抗菌薬・消毒薬の知識と実践	25分	薬剤師
標準予防策について	25分	看護師
冬季に気をつけたい乳幼児の感染症	90分	ウイルス学/小児科医師

## 結果・考察

受講者： 117人  
回答者数：103人（回収率88.0%）

### 【表1】

- 職種は、保育士61人（59.2%）、看護師29人（28.2%）などであった。

### 【表2】

- 回答者103人は、全て認可保育所であった。
- 設置母体は、名古屋市34人（33.0%）、社会福祉法人58人（56.3%）などであった。
- 保育所内に感染対策マニュアル「あり」90人（87.4%）であった。

### 【図】

- 感染対策マニュアルに記載されている感染症は、「ノロウイルス感染症」59人（56.6%）、「インフルエンザウイルス感染症」56人（52.2%）、「ロタウイルス感染症」52人（49.5%）、「とびひ」47人（45.6%）、「水痘」42人（40.7%）、「流行性耳下腺炎」42人（40.7%）、「麻疹」41人（39.8%）、「風疹」40人（38.8%）などであった。

### 【表3】

- 乳幼児の4疾患（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘）に対する罹患歴の確認は、92人（89.3%）が「あり」と回答した。この92人のうち、母子健康手帳での確認は15人（16.3%）であった。
- 乳幼児の4疾患に対するワクチン接種歴の確認は、93人（90.3%）が「あり」と回答した。この93人のうち、母子健康手帳での確認は14人（15.1%）であった。

### 【表4】

- 感染症に新たに罹患したり、ワクチン接種を行ったかの継続確認が「あり」と回答したのは、乳幼児に関しては54人（52.4%）、職員に関しては12人（11.7%）であった。

### 【考察】

- 保育所での感染症対策で最も重要な点は、乳幼児と職員の罹患歴、ワクチン接種歴の把握と記録の管理である<sup>1)</sup>。ワクチン接種状況を把握し年齢に応じた計画的なワクチン接種を保護者に推奨すること、職員は免疫を獲得することが推奨されている<sup>1)</sup>。
- 感染症マニュアルに「水痘」、「流行性耳下腺炎」、「麻疹」、「風疹」が記載されていたのは44.4~46.7%と半数以下であり、これらの感染症に関して感染対策マニュアルに記載して整備すること、乳幼児と職員の罹患歴や予防接種歴を確認し、新たに受けたワクチンがないか確認し、記録を更新するシステムを構築することが今後の課題と考えられた。

文献1) 厚生労働省：保育所における感染症対策ガイドライン、2012年改訂版。

表1 属性

項目	n(%)	
	n	%
職種	保育士	61 (59.2)
	看護師	29 (28.2)
	保健師	8 (7.8)
	その他	3 (2.9)
	無回答	2 (1.9)
職位	スタッフ	74 (71.8)
	管理職	18 (17.5)
	無回答	11 (10.7)
	職歴	
0~10年	48 (46.6)	
11~20年	25 (24.3)	
21~30年	17 (16.5)	
31年以上	9 (8.7)	
無回答	4 (3.9)	

表2 施設の属性と感染対策

項目	n(%)	
	n	%
設置母体	名古屋市	34 (33.0)
	社会福祉法人	58 (56.3)
	その他	4 (3.9)
	無回答	6 (5.8)
定員	0~50人	13 (12.6)
	51~100人	32 (31.1)
	101~150人	41 (39.8)
	151~200人	6 (5.8)
	201~250人	2 (1.9)
	251~300人	4 (3.9)
無回答	5 (4.9)	
感染対策マニュアル	あり	90 (87.4)
	なし	10 (9.7)
	無回答	3 (2.9)

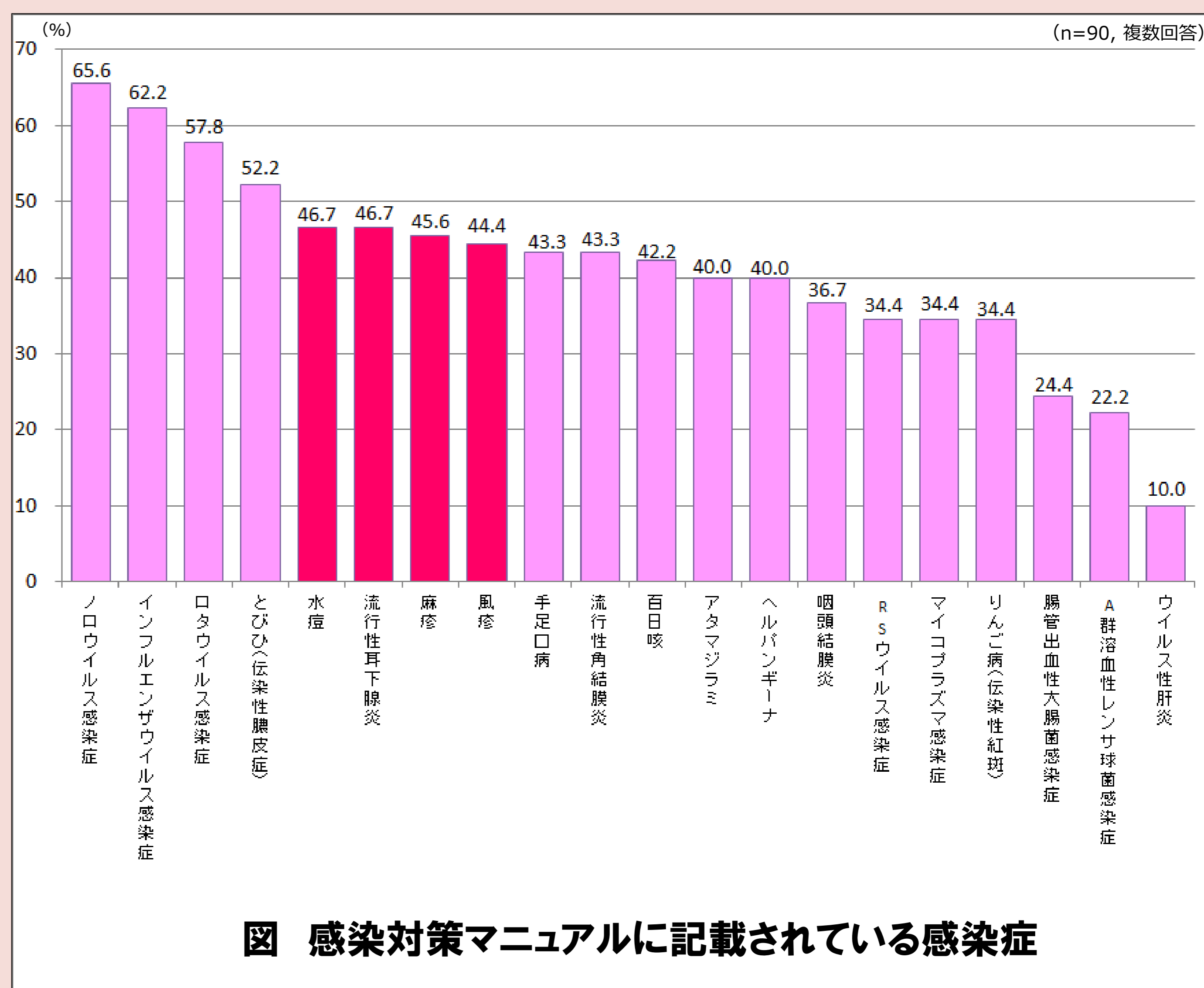


図 感染対策マニュアルに記載されている感染症

表3 乳幼児の4疾患(麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘)に対する罹患歴とワクチン接種歴の確認

項目	n	あり			なし			無回答		
		n	%	n	%	n	%	n	%	
罹患歴										
罹患歴の確認	103	92	(89.3)	10	(9.7)	1	(1.0)			
罹患歴の確認「あり」のうち 母子健康手帳での確認	92	15	(16.3)	75	(81.5)	2	(2.2)			
ワクチン接種歴										
ワクチン接種歴の確認	103	93	(90.3)	8	(7.8)	2	(1.9)			
ワクチン接種歴の確認「あり」のうち 母子健康手帳での確認	93	14	(15.1)	76	(81.7)	3	(3.2)			

表4 乳幼児と職員の4疾患(麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘)に対する罹患歴およびワクチン接種歴の継続確認

乳幼児/職員	あり			なし			無回答		
	n	%	n	%	n	%	n	%	
乳幼児	54	(52.4)	42	(40.8)	7	(6.8)			
職員	12	(11.7)	86	(83.5)	5	(4.9)			

## 会員外共同研究者

名古屋市立大学大学院医学研究科 長谷川忠男  
松井秀之  
木村和哲

## 謝辞・研究費

データ収集に関する助言を頂いた前名古屋市立大学看護学部 長尾多美子先生に深謝します。

研究助成：平成25年度名古屋市立大学特別研究奨励費